

ハーブだより

第200号 2021



今年の梅雨は不快感が少なく、おかげで、コロナワクチン、通常外来、ワクチン外来、発熱外来などがスムーズに行えている。もちろんスタッフの努力のおかげだ。ありがとうございます。ただし恒例の壊れ物。①胃大腸内視鏡②血管伸展血圧計③滅菌器（オートクレーブ）④X線用コンピューター⑤介護送迎用自動車2台⑥外来倉庫など次から次へと。いずれも10年物。総額一千万円以上の出費なるも、むしろ、新しい機器導入の見極めと手間が結構大変だ。加えてそれぞれのメーカーと卸がハーブのために時間を割いて頂きありがたい。感謝感謝です。

80人近いスタッフが揃うと各部署で様々な問題が生じ、その調整に他のスタッフがさらに時間と労力をかける。人間社会の縮図が見え、そのひしひし矮小さと大切さに一喜一憂する。

以前、渡辺淳一の「無影灯」を読んだとき、癌末期の主人公が、それらを「いとおいしい」と表現したことをよく思い出すが、さて現在の私とその通りと悟れるかと言うと難しい。やるべき事、伝えるべき事を行い、落ち着いた心持ちで淡々と対処でき、結局なるようになる事に、満足することが大切なのだろう。他人だけでなく家族関係においてもそうだろうな。

人間は機械と同様に壊れるが、機械のように取り換えることはできない。しかし、新しい状況に対応してより良く変化する事はできるはず。それを素早く行えるのが「若さ」だとすれば、円滑に行えるのが「老成」だ。前者を失いつつある自分は後者を用い補いながら、適切に対処せねばならぬ。そのための理解し合える仲間を増し楽しく仕事し、暮らせることを切に願う。

認知症の方を診て思うのは、どんなに体が丈夫でも心（脳）が病めば急速にその人すべてが悪化する。逆に、心（脳）が強ければ「正しい」方向へ向かい、かろうじて踏み止まる事ができる。

どうか、私を含め皆様がそんな力を維持できますよう心から願っています。



ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

スタッフブログを毎週更新中！！

ハーブ内科 検索



発行元:医療法人ハーブ内科皮フ科
株式会社ハーブライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753

【回想法デイサービス】



今年もはや半年がすぎようとしています。

4月から取り組んでいるお帰りの前の立ち上がり訓練。皆さん“よいしょ”の掛け声で5回立ち上がります。毎日の継続で掛け声も大きく揃うようになってきました。その後は歌をうたいながら片足立ちをします。しっかり片足を上げて、水戸黄門の主題歌「ああ人生に涙あり」を皆さんで歌っています。デイサービスでは、3ヵ月ごとに体力測定をおこなっています。次の測定で少しずつ筋力アップしているのでしょうか？〈継続は力なり〉



【訪問看護】



「今日も暑いですね」が訪問時の挨拶になってきました。これからの季節に注意して頂きたいのが『熱中症』です。日中の暑い屋外だけでなく“室内”や“異変に気づきにくい夜間”も熱中症の危険が高いためお気をつけ下さい。

【夜間熱中症の対策として】

- ① 適切な湿度温度調整・・・室温27～28度前後、湿度50～60%が快適睡眠環境
- ② 入眠前・起床時のコップ一杯の水分補給が大切となります。対策をして一緒に暑い夏を乗り切りましょう！



体調に不安がある際は遠慮なくご相談ください。

【くもん学習療法】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

昨年からの自粛続きで運動不足の方も多いのではないのでしょうか。K様は若い頃、野球・相撲・スキーなどたくさんスポーツをやってこられたそうですが、一番お得意だったのは「社交ダンス」だそうです。



「大会にも4回出ましたよ。24歳の頃は優勝しました。」とおっしゃっていました。学習教材に“マンボズボン”が載っていると、「マンボも踊りに行ったよ。だけど社交ダンスの方が得意だね」と渋い良い声で教えてくださいました。さるK様でした。